

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技について

A、2020年日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

### B、競技者招集の手順について

イ、選手招集は第4コーナー外のテントに用意されている、スタートリストの自分のナンバー(名前)に下の表の招集完了時刻までに、必ず○印をつけること。○がない場合は欠場とみなされるので注意すること。

ロ、招集完了後、現地にてナンバーカードとスパイクの確認を受けること。但し2種目同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ本人または代理人が点呼を受け、本人はフィールド審判員にその旨を申し出てトラック種目の方を優先させる。

ハ、混成競技は各日の第1種目のみ招集所で○つけを行い、以後は現地にて招集を行う。

ニ、競技に出場しない場合は必ず「欠場届」を事前に提出しなければならない。

用紙は招集場にあるので、必要事項を記入の上、早めに招集場へ提出のこと。

### ホ、招集時刻（競技開始時刻を基準とする）

区 分	予 選			準決勝・決勝	
	組	開始	完了	開始	完了
トラック	1～8	25分前	15分前	25分前	15分前
	9～16	10分前	0分前		
	17～	5分前	15分後		
5 0 0 0 m	タイムレース決勝				
	1	25分前	15分前		
	2	15分前	5分前		
	3	5分前	5分後		
フ ィ ー ル ド	開始 40分前	完了 30分前			
棒 高 跳	開始 60分前	完了 50分前			
混成トラック	10分前 現地				
混成フィールド	30分前 現地				

ヘ、ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち込むことを禁止する。

ト、競技者に対する助力については、競技規則144条に準ずる。

2. ナンバーカード（縦20cm×横24cm）は、男子は黒字、女子は赤字で明瞭に書き、必ず胸、背につけること。（跳躍競技は胸、背のいずれか一方でよい）また、写真判定にともなう腰ナンバーカード（縦12cm×横18cm）は、男女とも黒字で明瞭に書き右腰後方につけること。

### 3. バーの上げ方について

	種目	練習	バーの上げ方
男	走 高 跳	1 m70、1 m90	1 m75-80-85-88-91-94-97-2 m00-
	十種走高跳	1 m40、1 m70	1 m45-50-55-60-65-70-73-76-
	棒 高 跳	3 m70、4 m50	3 m80-90-4 m00-10-20-30-40-50-
	十種棒高跳	2 m40、3 m50、4 m00	2 m50-70-90-3 m10-30-50-60-70-
女	走 高 跳	1 m40、1 m55	1 m45-50-55-58-61-64-67-70-
	七種走高跳	1 m20、1 m45	1 m25-30-35-40-45-48-51-54-
	棒 高 跳	2 m80、3 m50	2 m90-3 m00-10-20-30-40-50-60-

同記録での順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

#### 4. 計測記録について

男	走幅跳	5m80	やり投	45m00	少共円盤投	25m00	
女	走幅跳	4m40	やり投	25m00	円盤投	20m00	ハンマー投 25m00

尚、三段跳の砂場からの踏切板の位置は、男子 13m00、女子は 9 m00 とする。

#### 5. 競技の抽選及び番組編成について

イ、予選におけるレーン順は、男女 100m ～ 400m までの種目は記載番号をレーン番号とする。

その他の種目はプログラム記載の順序（上から右へ）とする。但し、予選で各組 7 人以内の場合は 2 レーンから使用する。

ロ、準決勝・決勝の組み合わせ（レーン順）はすべて番組編成員が公正に抽選する。

ハ、タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。

プラスの人数を越える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。但し、オープンレーン使用種目の同記録者は全員次のラウンドへ進める。

ニ、リレーのオーダー用紙提出は、予選・決勝ともオーダーの変更の有無にかかわらず、各ラウンドの第 1 組目の招集完了時刻の 1 時間前までに招集所競技者係に提出すること。（オーダー用紙は招集場に用意してある）

但し、1 日目の女 4 × 100m の予選のみ、45 分前（8：20）とする。

#### 6. 競技用具について

イ、スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは 9 mm 以下とする。但し、走高跳、やり投は 12mm 以下とする。

ロ、用具は、棒高跳用ボールの他は競技場備付けのものを使用する。但し、やりは本人持参のものを、本部で検査の上使用すること。

ハ、やりの検査は競技開始の 1 時間前より 40 分前までに、100m フィニッシュ側の用器具庫内で行う。

やりには所属名を記入、前回の検定シールをはがしておくこと。

7. 次の種目について、下記のタイムを越えて周回を残している場合、競技運営上ゴール地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。

（男子）5000m 17 分、 5000W 28 分

（女子）5000m 19 分、 5000W 29 分

#### 8. 表彰について

各種目優勝者には選手権章と賞状を授与する。但し、選手権章は県内登録者に限る。

県外登録者の優勝者には賞状を授与する。該当者は直ちに表彰席（玄関ホール）に来ること。

#### 9. その他

イ、本大会 トラック 4 位・フィールド 3 位入賞者は、近畿選手権大会に出場できる。但し、県内登録者に限る。

出場希望者は、正面玄関ホールの受付まで申し出て、所定用紙を受け取り期日までに申し込むこと。

ロ、本大会の記録証明は、正面玄関ホールの受付まで申し出ること。

ハ、競技開催中における怪我については、応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。

ニ、投てき練習（メディシンボール等を含む）は、一切禁止する。

ホ、盗難等にあわないように、各自貴重品の管理に留意すること。

ヘ、競技場の環境美化に協力すること。各自が出したゴミ等は持ち帰る、あるいは指定のゴミ用コンテナに持って行くこと。使用した場所は責任を持って清掃すること。

ト、競技役員室、また本部席等に無断で関係者以外の出入りを禁止する。